

平成30年産「金色の風」に期待



JAとJAいわて平泉「^{こんじき}金色の風」栽培研究会は7月23、24の両日、関東の「金色の風」取り扱い米穀専門店を訪問し、円滑な取引を行うため情報交換を行いました。今後、関東でのさらなる知名度向上と消費者獲得に向け、PRの強化を図っていきます。

関東の取扱店5カ所を、「金色の風」栽培研究会の小野正一会長とJA職員ら4人が訪問。取り扱い米穀専門店からは「30年産の金色の風に期待している。31年産は、岩手の産地と組んでお米マイスターオリジナルのお米作りにも取り組みたい」と力強い言葉をいただきました。

「金色の風」栽培研究会の小野会長は「どの専門店からも金色の風に対し将来を見促えての期待を実感することができ、さらなる品質の向上が大切。玄米で販売する店が多く、見た目も大切に色選撰別の重要性を感じた」と30年産米の販売に向け、思いを新たにしました。



関東の「金色の風」取扱店を訪問